

介護福祉士修学資金貸付制度の概要

貸付対象者

介護福祉士養成施設で修学し、卒業後は介護福祉士として山口県内において介護等の業務に従事しようとする方。
※職業訓練生の方は対象となりません。

貸付額 ※無利子

- (1) 学費分 月額 50,000 円以内
- (2) 入学準備金 200,000 円以内 (初回の貸付時に限る)
- (3) 就職準備金 200,000 円以内 (最終回の貸付時に限る)
- (4) 国家試験受験対策費用 一年度当たり 40,000 円以内

※生活保護受給世帯またはこれに準じる世帯の方は生活費加算を申請することができます。
この場合、生活保護受給世帯の者に対する加算は、貸付決定後、生活費加算の支払開始前に生活保護が廃止された場合に限り加算金を支払います。ただし、高等教育の修学支援新制度の「給付型奨学金」「授業料等減免」のどちらか片方でも受けられる方は、生活費加算との併用はできません。申請時の居住地と年齢に応じて金額が異なりますので、詳しくは実施要綱を参照してください。

貸付期間

養成施設の在学期間

※学費及び生活費加算額は各年度の四半期ごとに振り込みます。

※入学準備金は初回の貸付時、就職準備金は最終回の貸付時、国家試験受験対策費用は各年度の初めに振り込みます。

返還免除

養成施設卒業後、山口県内の介護事業所等で、介護福祉士として介護等の業務に5年間従事した場合、返還が全額免除されます。県内過疎地域で従事する場合、または中高年離職者は3年間です。

※5年…在職期間が通算1,825日以上であり、かつ、業務に従事した期間が900日以上であること

3年…在職期間が通算1,095日以上であり、かつ、業務に従事した期間が540日以上であること

申請の手続き

在学中の養成施設に必要な書類をそろえてお申し込みください。養成施設にて取りまとめて申請していただきます。
申請者には養成施設を通じて書面により結果をお知らせします。

- (1) 介護福祉士修学資金貸付申請書 (第2号様式)
- (2) 誓約書 (第1号様式)
※本人と連帯保証人が連署、押印 (連帯保証人は実印) し、収入印紙 (200円) を貼って割印を押してください。
- (3) 養成施設の長の推薦書 (第3号様式)
- (4) 連帯保証人の印鑑登録証明書 (発行日から3ヶ月以内)
- (5) 世帯全員の住民票 (発行日から3ヶ月以内)
- (6) 世帯全員の所得証明書 (最新のもの) (発行日から3ヶ月以内)
- (7) 中高年離職者の場合は、離職を証明する書類 (事業所の離職証明等)
(離職後2年以内に介護福祉士養成施設に入学し、入学時45歳以上の方)
- (8) 生活費加算を含む申請の場合は、チラシの「※注」を参照してください。
- (9) 県社協会長が申請書の審査等に特に必要があると認めるときは、必要と認める書類
(例: 外国籍者の在留資格、連帯保証人が法人の場合等)

連帯保証人について

連帯保証人 (日本国内に住所を有すること) が必要です。申請者が未成年者であるときは、申請者の法定代理人となります。ただし、連帯保証人として適当である法定代理人がないときはこの限りではありません。

※連帯保証人が法人の場合は、別に下記の書類が必要です。

(1) 医療法人を除く法人の場合

- ① 人材育成事業を事業として規定していることが確認できる定款の写し
※法人が、外国人留学生候補者の受入れや、実習に対する支援を行う場合において、留学生候補者に対する支援等を行うことも人材育成事業の一つと考えられるため。
※定款の内容の変更については、認可を受ける所轄庁に御相談ください。
- ② 議決機関において決議がなされたか確認できる書類 (議事録)
※法人の議決機関が連帯保証の意思決定を行ったことが確認できる議事録等
- ③ 登記事項証明書

(2) 医療法人が保証人になる場合の必要書類

- ① 登記事項証明書
- ② 議決機関において決議がなされたか確認できる書類 (議事録)
※医療法人の従業員でなくなった場合も、債務の完済まで連帯保証を継続できることが条件となりますので、そのことが分かるように議事録に記載してください。